



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社
 コード番号 9110 URL <http://www.nsuship.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 宮崎 毅
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 大 名 福

TEL 03-6895-6260

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	33,964	4.1	△345	—	△1,297	—	△1,586	—
24年3月期第1四半期	32,623	8.5	376	△80.7	△324	—	21	△98.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △1,476百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △473百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△6.88	—
24年3月期第1四半期	0.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	187,631	64,051	33.0
24年3月期	190,659	65,581	33.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 61,920百万円 24年3月期 63,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は定款において第2四半期末日および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	65,000	△2.5	△600	—	△1,700	—	△1,500	—	△6.50
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※連結業績予想の修正については、本日(平成24年7月31日)公表いたしました「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	230,764,400 株	24年3月期	230,764,400 株
② 期末自己株式数	85,982 株	24年3月期	86,257 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	230,678,280 株	24年3月期1Q	230,679,626 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。また、本日付で「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日までの3ヶ月間）の外航海運市況は、ドライバルクにつきましては、中国向け米国炭・コロンビア炭の荷動きが活発化したことや鉄鉱石の荷動きが堅調に推移したことから、4月上旬から5月にかけて市況は立ち直りの兆しを見せました。しかしながら、その後、輸入拡大の反動により中国国内の一般炭在庫に余剰感が高まり石炭荷動きが鈍化したことや、新造船の竣工増による供給圧力の高止まりを受け、市況は再び弱含み、6月中旬にはケープ型撒積船主要航路平均用船料が2008年12月以来およそ3年半ぶりに日額4,000ドルを割り込みました。一方、タンカーにつきましては、市況は欧米のイラン原油禁輸措置を受け、調達ソースが西アフリカ積みへシフトし航海距離が伸びたことから船腹需給が引き締まり、一時的な回復が見られました。しかしながら、5月以降は欧州財政危機の再燃等による原油荷動きの停滞懸念や、新造船の供給圧力によって下降基調に転じました。このような状況の下、外航海運事業の業績は期初予想の通り厳しいものとなり、前年同期比で大幅な減益となりました。

また、内航海運事業につきましては、鋼材輸送・電力関連貨物輸送等が総じて低調に推移したことから、業績は前年同期比で減益となりました。

燃料油価格は、年初以降史上最高値圏の700ドル台後半（内地C重油）で推移した後、弱含む世界経済や石油輸出国機構（OPEC）の供給増を背景にした原油価格下落に伴い6月には600ドル前後まで軟化しましたが、当社の第1四半期の燃料油平均購入価格はトン当たり約716ドルとなり、前年同期比で約88ドル上昇しました。

また、対米ドル円相場は期中平均で81円67銭と、期初の見込み80円に比較して1円67銭の円安となり、前年同期比では33銭の円高となりました。

このような事業環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は339億円64百万円（前年同期比4.1%増）、営業損失は3億45百万円（前年同期は3億76百万円の営業利益）、経常損失は12億97百万円（前年同期は3億24百万円の経常損失）、四半期純損失は15億86百万円（前年同期は21百万円の四半期純利益）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度に比べ、30億28百万円減少の1,876億31百万円となりました。このうち流動資産は受取手形及び営業未収金の減少等により、40億7百万円減少しました。固定資産は建設仮勘定が28億43百万円増加しましたが、船舶の減価償却等により全体では9億78百万円の増加となりました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、14億98百万円減少の1,235億80百万円となりました。このうち流動負債は主として未払金の減少により、24億55百万円減少しました。固定負債は長期借入金の増加等により、9億57百万円増加しました。

純資産合計は、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことを主要因として、15億30百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	第2四半期連結累計期間				通期			
	期初予想	今回予想	増減額	増減率	期初予想	今回予想	増減額	増減率
売上高	70,000	65,000	△5,000	△7.1%	143,000	-	-	-
営業利益	△700	△600	100	-	1,200	-	-	-
経常利益	△1,400	△1,700	△300	-	500	-	-	-
当期純利益	△200	△1,500	△1,300	-	1,300	-	-	-

※期初予想(平成24年4月27日)及び今回予想における対ドル円換算率及び燃料油価格(内地C重油)の前提は以下の通りです。

	期初予想	今回予想(第2四半期前提)
対ドル円換算率	US\$=80円	US\$=79円
燃料油価格(内地C重油)	US\$720/MT	US\$650/MT

第2四半期連結会計期間以降につきましては、中国向け鉄鉱石・石炭輸送等の海上荷動きは堅調な推移が見込まれるものの、過去最大規模の新造船竣工がもたらす船腹過剰感を払拭するには至らず、長引く為替相場の円高基調等、厳しい事業環境が続くものと見込まれます。その一方で、足元の低市況を受けた老齢船の解撤や係船等、需給調整による市況回復に向けた動きも伺われます。

第1四半期連結累計期間において、保有有価証券の時価下落に伴う投資有価証券評価損を計上したことに加え、前述の事業環境の見通しを織り込み、本年4月27日付けで公表した平成25年3月期第2四半期連結累計期間及び平成25年3月期通期の連結業績予想を上記の通り修正いたします。なお、第2四半期の前提条件につきましては、対ドル円換算率を79円（期初前提比1円高）、燃料価格を内地C重油価格トン当たり650ドル（期初前提比70ドル安）へと見直しています。

足元では、海運市況は反発の機会を窺う局面にありますが、欧州財政危機等を発端とする世界経済の低迷が引き続き懸念され、さらに中東の政情不安により原油市場の先行きも不透明なことから、市況回復の時期を予測することは非常に困難な状況にあります。そのため通期の連結業績予想につきましては未定といたします。また、このような状況を踏まえ、中間配当予想額につきましては「無配」へと修正いたします。

詳細につきましては本日公表の「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更
（減価償却方法の変更）

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,329	17,290
受取手形及び営業未収金	15,753	14,530
たな卸資産	6,968	6,173
前払費用	2,321	2,530
繰延税金資産	3,261	3,886
その他流動資産	4,371	1,588
貸倒引当金	△114	△115
流動資産合計	49,889	45,882
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	107,171	105,484
建物（純額）	639	630
土地	855	855
建設仮勘定	23,545	26,388
その他有形固定資産（純額）	466	390
有形固定資産合計	132,676	133,747
無形固定資産	244	284
投資その他の資産		
投資有価証券	4,424	3,855
繰延税金資産	2,152	2,593
その他長期資産	1,274	1,270
投資その他の資産合計	7,850	7,718
固定資産合計	140,770	141,748
資産合計	190,659	187,631

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,546	6,449
短期借入金	15,610	17,060
未払金	2,820	261
未払費用	301	345
未払法人税等	648	28
繰延税金負債	172	59
前受金	1,370	918
賞与引当金	370	88
役員賞与引当金	36	7
デリバティブ債務	8,617	10,138
その他流動負債	2,275	1,956
流動負債合計	39,765	37,310
固定負債		
長期借入金	80,250	81,142
退職給付引当金	1,216	1,228
特別修繕引当金	2,083	2,185
繰延税金負債	1,621	1,607
その他固定負債	143	108
固定負債合計	85,313	86,270
負債合計	125,078	123,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	13,430	13,429
利益剰余金	44,448	42,862
自己株式	△26	△26
株主資本合計	68,152	66,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△625	△39
繰延ヘッジ損益	△3,210	△4,418
為替換算調整勘定	△1,020	△187
その他の包括利益累計額合計	△4,855	△4,645
少数株主持分	2,284	2,131
純資産合計	65,581	64,051
負債純資産合計	190,659	187,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	32,623	33,964
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	30,548	32,779
売上総利益	2,075	1,185
一般管理費	1,699	1,530
営業利益又は営業損失(△)	376	△345
営業外収益		
受取利息	63	44
受取配当金	68	42
持分法による投資利益	3	3
その他営業外収益	37	33
営業外収益合計	171	123
営業外費用		
支払利息	282	339
為替差損	571	724
その他営業外費用	18	13
営業外費用合計	871	1,075
経常損失(△)	△324	△1,297
特別利益		
固定資産売却益	—	242
賃貸借契約解約精算金	116	—
特別利益合計	116	242
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,442
特別損失合計	—	1,442
税金等調整前四半期純損失(△)	△208	△2,497
法人税等	△236	△830
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	28	△1,668
少数株主利益又は少数株主損失(△)	7	△82
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21	△1,586

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	28	△1,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118	568
繰延ヘッジ損益	△846	△1,209
為替換算調整勘定	444	788
持分法適用会社に対する持分相当額	19	45
その他の包括利益合計	△501	192
四半期包括利益	△473	△1,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△474	△1,377
少数株主に係る四半期包括利益	1	△99

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	27,166	5,239	32,405	218	32,623	—	32,623
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	2	115	117	△117	—
計	27,166	5,241	32,407	333	32,740	△117	32,623
セグメント利益	286	67	353	19	372	4	376

(注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	28,449	5,286	33,735	230	33,964	—	33,964
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	2	117	119	△119	—
計	28,449	5,288	33,736	347	34,083	△119	33,964
セグメント利益 又は損失(△)	△241	△126	△368	18	△350	5	△345

(注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。